

一、衆議院選挙の政治論戦について

・これまで訴えてきたこと、語ってきたことが、そのまま熱い争点になる

五中総以降にとりくんだ論戦や提言が、選挙の争点に

切実な要求から出発して党の支持を訴えることはだれでもできる

・国民の切実な要求と「二つの政治悪」とのかかわりが見えやすくなっている

どんな問題も根源をたどると「二つの政治悪」に直結する

綱領と情勢の響き合いという状況が広がる

・「政治の自身を変える」という訴えができるのは日本共産党だけ

麻生政権——自民党政治の行き詰まりへの反省も、打開策もない

民主党——「政権交代」をいうが「二つの政治悪」を正す立場は見えてこない

自身を変えないで、担い手だけを変えても、日本の明日は開かれない

・日本共産党がのびれば政治は必ず変わる——そのことは実績に裏付けられている

「決定的な場面」で日本共産党の果たした役割を大いに語って

新しい国会では、国民要求にたった提案をおこない、問題ごとに協力を追求する

二、選挙勝利にむけた活動について

・最も早い解散・総選挙を想定し、逆算でやるべきことをやりぬく

・やるべきことは明瞭——全有権者を対象とした宣伝・組織活動を前面に

二つの基準で到達点を直視し、飛躍をつくろう

全有権者を対象とした宣伝・組織活動の大飛躍を

「大運動」「集い」——記念講演ダイジェストビデオを大規模に活用して

選挙本番にふさわしい形態で、党勢拡大の高揚を追求する

全支部、全党員が、後援会員とともに立ち上がれば、勝てない選挙はない

・五中総決定にもとづく新しい選挙方針を必ず成功させる

三、第二五回党大会の延期の提案

四、「国民が主人公」の民主的な政権をつくる第一歩の選挙に

・がんばりいかんでは、前進・躍進が可能なチャンスの選挙

・綱領路線実現の第一歩の選挙——不屈の日本共産党員魂を発揮して